

会議開催記録

会議名	第7回 菊川市総合計画審議会
日 時	平成 28 年 1 月 25 日（月）19:00～
場 所	菊川市役所 2階 201、202 会議室
出席者	審議会委員 9 名、事務局 3 名
議 事	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 第2次菊川市総合計画 基本構想（案）【資料1】 第6回菊川市総合計画審議会意見対応一覧【補足資料】 (2) 第2次菊川市総合計画 政策指標一覧（案）【資料2】 4 閉会
議事要旨	1 開 会 ・互礼 ・15名委員のうち、9名出席。過半数の出席により会議成立の確認。 ・議場配布資料および事前配布資料、資料1、補足資料、資料2の確認 2 会長あいさつ 会 長：こんばんは。寒波が来まして、身が引き締まるというか風邪を引いている方もいらっしゃるみたいですが、体にはお気を付けていただきたいと思います。審議会もあと2回でラストスパートとなり、今回と次回が実質的な議論となりますので、ご尽力をお願いします。パンフレットを配りましたが、県立大学でシンポジウムをやっており、地域の幸福度を捉えて、まちづくりをする内容となっていますので、ご都合が付きましたら参加をお願いします。では審議に入ります。 3 議事 (1) 構想案について 事務局：資料説明。 会 長：ありがとうございます。前回の審議会の欠席の方もいるので、新たに気づいた点も含めて、説明に対して修正した方が良い点などをお願いします。改めてみて、修正点があると思っています。前回、28、29P ページにかなり指摘があり、細かくチェックはしなかったのですが、今回は細かく詰めていきたいと思っています。 副会長：大きな問題ではありませんが、前回の資料に比べると書き込んでもらっているという感想を持っています。文章の中で、まず課題1、前回も議題になったのですが、課題の捉え方として、菊川茶が収益の高い商品かどうかがこの文章のもとになっています。お茶を生産している方にとって現在のお茶は高収益の作物と捉えると違うと思います。そうすると、高収益の作物とお茶を組み合わせるとなると、お茶は高収益と捉えられると思

うが、現状は違うと思います。私は、現在お茶は高収益のものではないと思っているので、お茶を含めて高収益化していくことが必要です。課題7の「自治体」は「自治会」です。課題7の3つ目の丸の主語は何ですか。それによって4つ目の丸の捉え方が違ってくるのでは。96Pの(4)の2行目の「行政運営」と(5)の2行目の「市政運営」とは、書き分けているのですか。

会 長：ありがとうございます。

事務局：課題4については、お茶の表現や誤字等もあります。誤字脱字等も見直していきます。
96 ページの市政運営、行政運営については、担当課に書いてもらっており、修正して統一した表現にする方向です。

事務局：28 ページのお茶の件は、市としてもお茶は高収益とは考えていません。ここでは、高収益の作物とお茶以外の作物とを組み合わせ、複合経営をしていくということです。お茶と高収益の作物を複合してやっていくという内容です。例えば、お茶と高収益の作物の複合経営の方がわかりやすいかとも思いました。

副会長：本質的なところで、お茶の経営を現状のまま推移させていいかどうかの判断だと思うのです。現在は市場を通して、農協を通して、問屋にいつているが、それを輸出に向けたり、直接消費者に販売したり付加価値をつけた経営にしないといけないのではないか、という問題提起です。

事務局：ありがとうございます。趣旨はわかりましたので、検討します。

委 員：質問ですが、人口が各年は住民台帳で、5年毎は国勢調査ですが、普通、国勢調査を基本にして、それをベースに推計して、市町村の推計人口を出していますが、そうすると、整合性が取れたものになると思うので検討してほしいと思います。表として、人口動態はあるが、出生率の説明がないので、そこが弱いと思います。26 ページの中で、強み、弱みが無いということで追加されましたが、今度は外的要因がないと感じました。複雑になるので、意見だけです。強み、弱みの書き方は、強みの中に、高い出生率、待機児童ゼロとあるが、これは何です。国・県に比べてということなのか、増加傾向にあるのか、意味がわかりません。出生率は低く、周りより高いといったものになるはずですが。課題6で、地価が安価だとあるが、私が言った意図は、静岡と浜松の中間にあり、交通の便が良くて、生活環境もいい、なおかつ地価が安価なのでいい、という意味で、「地価が安価」を強調しすぎてもどうかと思います。

事務局：人口は確認して、変更するかどうか検討します。合計特殊出生率は文章を変えて、記載をします。強み、弱みは、表をすべて入れるのも難しく、このような形になっていますので、もう少し、文章を付け加えて修正します。29 ページについては、地域の特性は鉄

道とか、浜松と静岡の中間に位置するといったもの等を相対的に書くように修正します。

委員：28、29 ページについて、課題 1 の中で、事業所の集積の低さ、今後の活力低下が一層とか、課題 2 の宅地の増加と農地の減少がバランスのとれた土地利用につながるのか、低未利用とか違和感のある言葉が多いように思います。37 ページの目標 4 にも利便性が何回も出てくるのでくどいと思います。

事務局：文章表現はそれを踏まえて再度見ている所です。次回には、全体的に修正をかけて意味が変わらないように修正します。

会長：課題 2 の 2 つ目の丸に交通関係がありますが、菊川市は 1 つの優位性として静岡空港に近いことがあげられますが、それが全然出てこないで、課題 6 の 2 番目にもないので、空港に関する記述を入れた方がいいのではないのでしょうか。課題 1 の最初の 1 行目、農用地面積の割合が多くとあるが、割合は多くとはいいません。2 番目の高齢化や地産地消、地域密着など新たな時代とありますが、高齢化と地産地消、地域密着がそれぞれ新たな時代を象徴するものかどうか。最近では地産他消と言って、地域で作って地域外で売る認識も高くなってきているので、色褪せてきています。地域密着はどれにかかるのか、賑わいなのか、新たな時代なのか、何を示しているのかわかりません。課題 2 の最後の丸、発生が想定される大規模災害、増加する異常気象自然災害など裏づけを取っておいた方がいいかなと思います。大規模災害も自然災害ではないですか。29 ページになると、課題 4 は、「全国的にも人口減少が進み」はいらないのではないですか。2 つ目の丸、女性の就労環境の改善など子育て教育環境を充実とありますが、改善と子育て環境を並列でもいいのではないですか。就労改善が子育て環境の充実の代表的なものかどうか。3 つ目の丸、「高齢世帯」と言いますか。課題 5 の 1 つ目の丸、「他から」は、他の地域か、よそからという意味か、よくわかりません。

事務局：内容については、空港なども追加して、修正します。全体的にわかりやすくしていきたいと思っていますので、裏づけなど考えながら、文章を修正します。

委員：29 ページの課題 6 の菊川ブランドですが、まちの住みよさを菊川ブランドとして P R とあるが、その定義についても、商工会には菊川ブランドという商品があるので、それと整合性を持たせるものなのですか。菊川の住みよさを P R するには、特にブランド化する必要も無いと思いますが。

会長：商品で菊川ブランドとあるのは認識していましたが、住みやすさを伝えるために利用しており、同じ言葉があるのはわかりにくいので、住みやすさといった特性をどう磨いて情報発信していくかを検討します。

会長：他はいいですか。次回も指標を含めて再度検討しますので、その際もご指摘をお願いし

ます。

副会長：これも裏づけをはっきりして欲しいのですが、課題5の2つ目の丸、世界農業遺産の茶草場農法ですが、菊川に茶草場農法がどれくらいあるのですか。以前は、萱とかいろいろな草を茶園にひいていたが、最近菊川はほとんどなくなって、一部しかないと思いますが、実態がわかりません。その辺は調べておいて下さい。

事務局：茶草場農法は、菊川市内でどれくらいやっているのかは、担当課に確認をします。

事務局：私もはっきりとした数値はわかりませんが、来年度の予算で、茶草場農法をしているところの環境調査をする予定です。貴重な植物とか動物昆虫類がどれくらい生息しているかを調査します。その対象農家が20件程度であったと記憶しています。正確な事を調べます。

会 長：では、議事2について事務局から説明をお願いします。

（2）政策指標について

事務局：資料説明。

会 長：ありがとうございます。資料の濃い灰色が現在の総合計画で使われている指標で、白地の部分が候補としてあげてあるものです。指標によって沢山あるものと少ないものがありますが、その辺のバランスも見ていただいて、医療関係は指標が多く、農業関係、豊かな自然、住環境は指標が多いが、商工業は基盤が大事ですが、工業が抜けているのでバランスが悪いのではなど、その辺も含めていろいろな意見ををお願いします。次回本格的に議論しますが、今回、意見があればお願いします。

委 員：色々ありますが、あまり目標指標を多くすると大変になりますので、政策単位にしても大変。もっと集約してもいいと思います。主観的な指標としてアンケートがあり、1項目で3、4つあって、色々な見方もあり、真逆の結果が出ることもあります。数値目標を沢山置かない方がいいと思いました。

事務局：この指標は、政策ごとに複数出していますが、候補の案であり、その中から、政策ごとに1つまたは2つを設定します。すべてを掲載するわけではありません。ただ、担当課にこのような指標で良いのかという確認も出来ていませんので、各課に照会をします。これ以外に皆さんから指標としていいものがあったら提案をお願いします。

会 長：ここの指標は、施策で把握出来ているものを政策にあげるということですか。

事務局：まだ、施策の指標も整理出来ていません。専門的な意見を皆さんからもらって検討を進

めたいと思っています。

会 長：分野全体を表す指標はなかなかないので、パーツを表すものになってしまいますが、その中でも中核になるものを選びたいということです。

副会長：大きな資料2の指標と資料1の40ページ以降の政策指標とは、あわせてあるのですか。

事務局：資料1の4ページからの指標は、アンケートからの主観指標です。資料2は客観的な指標です。主観と客観の2つを載せます。主観指標だけでは政策の進捗をはかるのは難しいとのことでしたので、数値で表せる客観的な指標を2つ掲載するつもりです。現行計画は、2つの数値目標を出しておりそれに近い形になります。政策指標としては、2種類を掲載していく予定です。

副会長：資料1の40ページ以降の各政策に対して、加えて資料2の中から一番マッチする指標をそれぞれに入れ込んでいくということですか。そうすると多くて5つくらい少なくとも2つはあるという理解でいいですか。

委 員：政策指標であって、各施策についても指標を設定するとありましたが、その違いがわかりにくいです。これは各施策の指標だと思っていました。資料2は施策指標だと思います。

事務局：前回話しましたが、市民アンケートを用いた指標を設定して、施策で数値目標と考えていましたが、政策についても数値目標を入れた方がいいとの意見がありましたので、政策はいろいろな施策がある中で全てを網羅する数値指標の設定が難しく、代表的なものを設定していき、施策でも数値目標を設定する方向です。

会 長：前回の議論のなかで、市民アンケートの数値だけだとかなり無理のある数値もあります。例えば商工業では、安全安心な農産物が生産されていると思う市民の割合は、一般市民にはわかりません。農業者だったら判断できるかもしれませんが。元気なお茶の町と思う割合も「元気なお茶」は抽象的です。それが客観的な指標かどうか分からないので、政策を代表する客観的な指標を入れて、特にアウトカム、成果に基づく指標をいれてPDCAしていくことが主流です。そのような意見がかなり出たと思います。客観的な指標を見出すのが大変ですが。議会でもこのような指標をもとに、行政が実績を挙げたかを議論することによって、議会と行政とのある種の緊張関係、政策が良くなると思います。

委 員：農業で言うと、3つもの指標で新規就農者数とありますが、これらを達成させた時に農業がどうなるかが政策指標だと思います。そのような数値が出れば政策目標になると思います。アウトカムの数値を入れたいです。

事務局：言われる通りで、いくつかの施策をやることで、総合的にどこを目指すかになると思いますが、個々の施策の指標など新規就農者数とかありますが、トータルの目標をどうするか、なかなか出せない。統計的に菊川の農業を評価しているものがあればいいが、トータルの指標設定が難しいので、施策レベルの代表的なものを設定してはどうかということです。その辺の意見をお伺いしたく、全体の指標が作ればいいが、そこはちょっと難しいのが現状です。

会 長：産業関係では、製造品出荷額はアウトカムだと思います。所得も捉えられればいいです。付加価値ベースで、市のGDPで産業別があればいいと思います。農業でいえば農業生産額、または、農家所得。産業の最終的な成果は、他の自治体でも使われていると思いますので、参考にして欲しいと思います。

委 員：スポーツ振興計画を作る時にアンケートを取ったので使えると思います。今年度より市がスポーツのマイレージ制度、それでポイントを貯めるという事も始めましたので、どれくらいの人が実行するのか調べられると思います。市長の肝いりで始めたので、すぐやめることはないと思います。

委 員：消防団としては、アンケートをとったりしているが、防災力を高めるには、防災指導員が多くいる中で、行政の中では前に出てこないが、防災指導員の方は頼まれてやっているという人も多いが、それが高まれば自主防等も力になると思います。それに関することが1つあればいいと思います。防災力を高めるには、防災指導員の具体的な活動方法を示さないと連携を図れないと思います。

委 員：健康について、26 ページにある強みで、社会福祉法人活動が活発とあるが、高齢者になっても元気にスポーツが出来て交流できる人、生活困窮者を支えるボランティアが増えればいいと思います。ただ、そうはいっても高齢になると認知症になったり、身体に支障が出たりといった現実がありますので、暖かく見守ることのできる地域や家庭、公共施設を含めてPRしたいが、現実的には満足できる形にするには、お金も必要で、医療施設を満足させるには、出費も必要です。第1次の指標は、最もだと思いますが、書き出してあるものが全部出てくるといいと思いますが、そうもいかないと思うので、絞るとなると色がついているものになると思います。

事務局：色がついているのは、現行計画の指標であり、これを活かしていくのもいいと思いますが、政策の体系が第1次から変わってきているので、使えるものは使い、いいものがあればと思っています。施策レベルのものが多いと認識しており、代表的なものを政策にあげていこうと思っています。また、施策レベルの数値としても活用できると思っています。この中からいくつかは政策、いくつかは施策と振り分けると認識していただきたいです。削るものばかりではありません。

委員：施策と対応した指標は必要だと思います。48 ページに読書活動についての現状課題とありますが、施策にも読書活動があります。指標にはありません。子どものボランティアに関する指標はありますが、文章はありません。整合性が取れていないと思います。施策に対する指標は対応した方がいいのでは。施策≡指標とならないのならば仕方ないですが。

事務局：ありがとうございます。市民アンケートについても、政策指標でとれるアンケート調査項目で1、2つに絞っています。それを補えることができる問いと思っていますが、全てを網羅出来ないかもしれません。

副会長：先ほどの説明を聞きながら見直してみると、色つきの指標は現状にあってないと思います。その時の施策の指標。既にないものもあるので、第1次にこだわる必要はないと思います。アンケートの内容も、実態を把握するのは難しく、アバウトな質問形式なので、もっと考えてもらいたいと思います。この内容だと答える人がどちらでもいいと思う人が多いのではないのでしょうか。

会長：時間的には予定の時間となりましたが、意見はありますか。事務局でご発言の中で、何かありますか。

事務局：中身については文章的なものも含めて精査します。施策指標についても、今回にあったものを出していきたいと思います。施策の指標をもう一度練り直しして次回にお示ししたいと思います。それが政策として適しているのか、もしくは違う形の政策指標がいいのかも含めて内部で検討し、お示ししたいと思います。政策指標については、委員の専門的な意見をご提案をもらえればと思います。

会長：今日欠席の委員も、専門分野を持っているので、依頼する時にも、次回発言していただけるようお願いしたいと思います。

4 閉会

以上